

平成30年度「原子力人材育成ネットワーク」報告会
平成31年2月15日（金）10:00～16:30
AP虎ノ門

高橋運営委員長 ご挨拶

本日は、ご多忙中にも関わらず、8回目となる平成30年度原子力人材育成ネットワーク報告会へご参加いただきまして、誠にありがとうございます。開会にあたり、運営委員長として一言ご挨拶申し上げます。

本原子力人材育成ネットワークは活動を開始してから9年が経過しました。本日の報告会では、これまでの成果や課題についてご報告とご講演をいただくこととしております。

プログラムについて簡単にご紹介申し上げます。

本ネットワークでは、10年後の人材育成のあるべき姿に向け、ロードマップを作成していますが、本日ははじめに、ロードマップに沿った、5つの分科会や事務局の活動状況について事務局より報告いたします。引き続きロードマップに沿い、人材育成が着実に推進されるよう皆様の活動に期待いたします。

人材育成は、日本全体として整合性をもって、効果的・効率的に進める必要があるため、事務局機能を強化して、戦略の策定をすることといたします。これは本ネットワーク発足時からの大きな課題です。今般、現・企画WGを改組して、今年4月に戦略WGを設立します。戦略案の策定には、国との意見交換が欠かせませんので、引き続き、国のご理解とご協力をお願いしたいと思います。本日は、戦略WG設立にむけた活動とその一環として行った海外調査の報告をしていただきます。

また、人材育成はネットワークに参加する関係府省、機関・企業だけではなく、監督官庁においても共通の課題です。本日は、原子力規制委員会 原子力規制庁 長官官房人事課の杉本様より、規制人材の育成についてご講演をいただきます。

午後には、原子力人材のグローバル化、国際機関での活躍に焦点をあてた講演、意見交換を予定しています。

本日の報告会は、国内外の人材育成関係者が集う貴重な意見交換・情報共有の場です。これらの課題解決に向けて、共通の思いを新にいただき、一層ネットワークの輪を広げ、今後の参加機関個々の、また機関横断的な活動の成果が一層実り多いものとなるよう祈念します。

今後も皆様のネットワーク活動へのより積極的なご参加を期待いたしまして開会の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

以上